



尾崎 未空

ピアノリサイタル

2020年6月6日(土) 開場 14:30/開演 15:00

入場料：会員3,500円/一般4,000円/学生2,000円(全席自由席)



<プログラム>

ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第31番 変イ長調 Op.110

シューマン：歌曲集「女の愛と生涯」より

シューマン：ピアノ・ソナタ 第3番 へ短調 Op.14

*プログラム等は、やむを得ない事情により変更になる場合がございます。

<プロフィール>

尾崎 未空(OZAKI Misora) Piano

1996年生まれ。2016年第40回ピティナピアノコンペティション特級グランプリ、及び文部科学大臣賞受賞。

2019年第15回MozARTE国際ピアノコンクール(ドイツ・アーヘン)で第一位、及び聴衆賞を受賞。2009年にめぐろパーシモンホールにて初リサイタルを開催して以来、国内外で数多くの演奏会に出演。これまでにドイツ、オーストリア、ポーランド、イギリス、オランダでコンサートや音楽祭に出演、リトアニア国立交響楽団、ミネソタ管弦楽団、ポーランド・クラクフ室内管弦楽団、ポーランド・シレジア管弦楽団、新日本フィル、日本フィル、東京響、東京フィル、大阪フィル等と共演を重ねる。

2017年3月キングレコードよりデビューCD「MISORA」をリリース、5月には浜離宮朝日ホールにてリサイタルを開催し、高く評価された。昭和音楽大学卒業。

現在はミュンヘン音楽演劇大学に在学中。江口文子氏、アンティ・シーララ氏に師事。

清澄かつ端整でありながら自由——
感じるのは、ただただ音楽そのものである。

ベートーヴェンの頂点、
シューマンの呼吸。



尾崎未空ピアノリサイタル

123
Mitake Sayaka Salon (vol.62)

2020年6月6日(土) 開場 14:30/開演 15:00 入場料:会員3,500円/一般4,000円/学生2,000円(全席自由席)



ベートーヴェンの頂点、シューマンの呼吸。
清澄かつ端整でありながら自由——
感じるのは、ただただ音楽そのものである。

「尾崎未空にしかできない音楽」というものをいくつか思い浮かべることができる。

当たり前のことなのかもしれないが、音楽の流れが絶対に途切れない。ごく自然に、意識せずとも呼吸が常に流れているのと同じように「音楽が流れている」のだ。

奇を衒うようなヴィルトオーゾ的なところはなく、音楽を阻害するような偏った癖のない彼女のピアノはずっと聴いていたくなるような不思議な心地よさがある。

その洗練された自我の無い澄み切った美しさからは、個性とは一見かけ離れているように思われるかもしれないが、決して没个性的ではない。

感じるのは、ただただ音楽そのもの——その美しさを形容する言葉を知らないが、その言葉にできない"何か"こそ、彼女の不思議な魅力に繋がっているのかもしれない。

そんなこともあってか、精神性の高いドイツものは、妙に彼女に合っている。

ドイツものには生涯を捧げてでも演奏したいと思わせるような、偉大な作品がたくさんある。

今回はベートーヴェンのピアノ・ソナタ 第31番 変イ長調 Op.110。

シューマンは歌曲集「女の愛と生涯」より、そしてピアノ・ソナタ 第3番 へ短調 Op.14と、巨匠たちが到達したメインディッシュが並ぶ。

美竹サロンではアンサンブル、ソロと、定番になりつつある彼女の登場だが、毎回、新鮮な感動を生み出し、もっと聴きたいと思わせてくれる。

今回も、尾崎未空の"未だ見ぬ空"を胸をふくらませて見上げてみたいものだ。
(美竹清花さろん)



大ホールのプラチナ席をしのぐ
“美竹清花さろんという楽器”の中で
味わう一期一会

世界に羽ばたく才能あふれる
トップアーティストが続々と集結。

日本のトップクラスの若手演奏家が、

こだわり抜いた価値ある企画をお届けしていきます。

美竹清花さろんが追求する“本物の音楽”は、

演奏者と参加者とわたしたちの、

三位一体の努力と対話から生まれます。

大好評につき
サロン・メンバーズ
追加募集中!



誕生。
クラシック音楽サロンの、
宮益坂、
渋谷駅 徒歩2分



Mitake
Sayaka
Salon



●お問い合わせ

株式会社 ILA (美竹清花さろん)
東京都渋谷区渋谷1-12-8 (〒150-0002)
☎ 03-6452-6711 (平日 9:00-18:00)
070-2168-8484 (時間外可)
Fax 03(3409)0188

